

平成 30 年 1 月 17 日

新生児聴覚検査実務の手引き 構成案

※【】内の数字は作成ページ数の目安

I 検査の目的及び手引きの位置づけ

- 1 検査の目的、意義等【0.5】
- 2 母子保健課長通知で示されている基本事項【0.5】
(**ポイント** 新生児聴覚検査の実施、周知啓発、関係機関の連携、医療機関における留意事項)

II 新生児聴覚検査の流れ

- 1 流れ図【1】
- 2 補足説明等【1】
(**ポイント** 見開き左側頁が流れ図、右側頁が補足説明等)

III 関係機関の役割

1 区市町村

(1) 妊婦への周知

- ・ 確実な受検に向けた周知【1】
(**ポイント** 母子健康手帳交付(=受診票交付)等の際の説明内容、特に分娩予定の施設が新生児聴覚検査を実施していない場合でも受検につながるよう必要な情報を提供)
- ・ 検査に関する周知啓発資料【1】
(**ポイント** チラシや「赤ちゃんのおみみ」の説明を入れてはどうか)

(2) 公費負担制度の実施

- ・ 制度の概要【1】
(**ポイント** 関係機関が共通して理解する範囲をコンパクトに説明)
- ・ 受診票の仕組み【2】
(**ポイント** 受診票に確実に必要事項を記入してもらえよう、記入方法や意義を図入りで説明。医師が記入する部分は区市町村にとっても重要なので記載するが、ここではコンパクトに記載するか)

(3) リファール児に関する対応

- ・ 検査実施医療機関から連絡を受ける時の対応【1】
(**ポイント** 連絡していただく医療機関が困らないよう、なるべく統一的な対応を図る)
- ・ その後の対応、リファール児及びその家族の支援【1】
(**ポイント** スクリーニング結果を受け支援につなげる取組、ろう学校乳幼児教育相談と連携し早期から保護者の不安を軽減)
- ・ 精密検査の勧奨、検査機関の紹介【0.5】

(4) 未受検児の早期発見と受検勧奨

- ・ 未受検児の早期発見の方法【1】
(**ポイント** 新生児訪問や乳児健診等で母子健康手帳を確認し受検の有無と結果を確認)
- ・ 未受検児の受検勧奨【0.5】
(**ポイント** 検査可能な医療機関を案内し確実な受検につなげる)

- ・ その後の健診でも継続して耳の聞こえに注意 【0.5】

(ボイ保健センター等での取組、保護者への周知等)

- ・ 受診票による検査結果の把握 【0.5】

(ボイ受診票が区市町村に戻ってきた後の確認等)

(5) 精密検査の実施

- ・ 精密健康診査受診票の手続き 【0.5】

- ・ 検査結果の把握 【0.5】

(6) 早期療育へのつなぎ

- ・ 療育機関を案内 【0.5】

- ・ 関係機関との連携 【0.5】

(ボイ区市町村の地区担当保健師による児と家族へのフォロー)

2 新生児聴覚検査実施医療機関

(1) 初回検査、確認検査の実施（分娩取扱機関を想定）

- ・ 検査時の対応 【2】

(ボイ基本は学会マニュアルに沿って実施)

- ・ 受診票の記入方法 【2】

(ボイ受診票に必要事項を記入してもらう意義を説明。ここでは特に医師が記入する部分を解説)

- ・ 保護者への結果説明 【0.5】

(ボイ基本は学会マニュアルに沿って実施)

- ・ 母子手帳への結果の記載 【0.5】

(ボイ手書き又は結果用紙を貼り付けるなど)

- ・ 初回検査ができない場合の対応 【0.5】

(P〇〇の対応に準ずる)

- ・ 確認検査ができない場合の対応 【0.5】

(ボイ退院期日との関係で検査が難しい場合等を想定。区市町村に連絡し、精密健康診査受診票により手続きを行い、精密聴力検査実施医療機関で対応)

(2) リファールに関する対応

- ・ 保護者への結果説明 【0.5】

(ボイ基本は学会マニュアルに沿って実施)

- ・ 居住区市町村への連絡手順 【2】

(ボイ基本は分娩取扱施設において確認検査まで実施しリファールだった場合の対応を想定。また、同一施設内の耳鼻科（精密聴力検査実施医療機関）で確認検査を実施した場合にも確実に区市町村に連絡が行くよう手順を明示)

- ・ 区市町村での精密健康診査受診票の発行、保護者への連絡について 【0.5】

- ・ リファール児と保護者へのフォロー 【0.5】

- ・ 精密聴力検査実施医療機関の紹介 【0.5】

- ・ サイトメガロウィルスのこと 【0.5】

(3) 医療機関向けQ&A 【6】

3 新生児聴覚検査未実施の分娩取扱医療機関・助産所等

(1) 検査ができない場合の対応【0.5】

(ポイント)検査機器がない施設を想定。検査可能な医療機関を紹介)

4 精密聴力検査実施医療機関

(1) 精密検査の実施

- ・ 精密検査の実施内容【1】
- ・ 検査の実施時期と結果説明【0.5】
- ・ 精密検査受診票【1】
(ポイント)記入していただく内容など)

(2) 難聴児に関する対応

- ・ 児の治療、療育の検討【0.5】
- ・ 療育機関の紹介【0.5】

5 療育機関

(1) ろう学校乳幼児教育相談【2】

- ・ 事業の概要、関係機関と連携し保護者をフォロー

(2) 早期療育【1】

6 東京都

(1) 周知啓発

- ・ 母子保健研修、赤ちゃんのおみみ【1】

(2) 関係機関支援

- ・ 標準要綱、手引き等【1】
- ・ 区市町村及び医療機関の実施状況把握【1】

IV 資料

1 検査関係様式

(1) 受診票【1】

(2) 精密健康診査受診票【1】

2 周知啓発資料

(1) チラシ【1】

(2) 赤ちゃんのおみみ【1】

3 共有すべき関係機関情報

(1) 新生児聴覚検査実施医療機関リスト【6】

(2) 精密聴力検査実施医療機関リスト【1】

(3) 都内区市町村担当窓口リスト【4】

(4) 療育機関リスト【2】

4 その他

- (1) 国の通知、事務連絡【4】
- (2) 新生児聴覚検査実施要綱（標準要綱）【6】
- (3) 新生児聴覚スクリーニングマニュアル（日本耳鼻咽喉科学会）紹介【1】